

概 要

1 福井県総人口 762,679人（令和2年10月1日現在）

本県の総人口は、令和2年10月1日現在762,679人となり、令和元年10月1日から令和2年9月30日までの1年間に5,063人減少した。

全国総人口は12,588万人（総務省「人口推計」令和2年10月1日現在概算値）となり、本県人口の占める割合は0.61%である。また、本県の面積は4,190.52k㎡（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和2年10月1日現在）であり、人口密度は1k㎡当たり182.0人である。

人口は昭和46年以降増加傾向が続いていたが、平成12年以降は減少に転じ、令和2年は前年と比べ△0.66%と、21年連続の減少となっている。

図1 総人口・人口増減率の推移（昭和40年～令和2年）

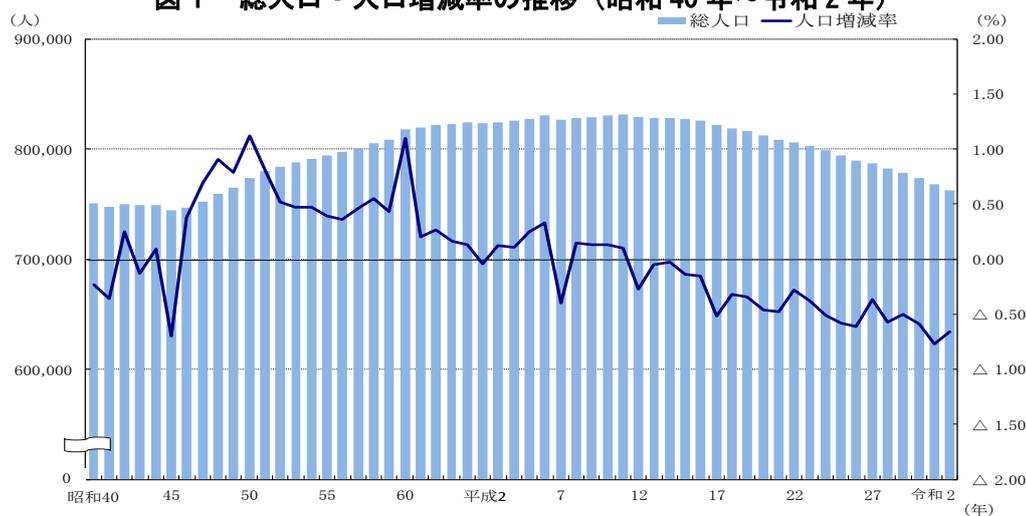


表1 人口の推移（平成元年～令和2年）

（単位：人、％）

区分	総人口	人口増減数	人口増減率	自然増減数	社会増減数	外国人数
平成元年	823,943	1,087	0.13	3,044	△ 1,957	・・・
2※	823,585	△ 358	△ 0.04	2,430	△ 1,453	5,257
3	824,581	996	0.12	2,355	△ 1,359	5,888
4	825,515	934	0.11	2,028	△ 1,094	6,588
5	827,560	2,045	0.25	1,673	372	7,379
6	830,317	2,757	0.33	2,086	671	7,848
7※	826,996	△ 3,321	△ 0.40	1,732	681	7,593
8	828,249	1,253	0.15	1,733	△ 480	7,886
9	829,344	1,095	0.13	1,346	△ 251	8,548
10	830,429	1,085	0.13	1,419	△ 334	9,091
11	831,222	793	0.10	1,135	△ 342	9,681
12※	828,944	△ 2,278	△ 0.27	1,287	276	9,861
13	828,502	△ 442	△ 0.05	1,070	△ 1,512	9,957
14	828,285	△ 217	△ 0.03	892	△ 1,109	10,389
15	827,110	△ 1,175	△ 0.14	409	△ 1,584	10,740
16	825,880	△ 1,230	△ 0.15	△ 39	△ 1,191	11,252
17※	821,592	△ 4,288	△ 0.52	△ 444	△ 1,267	10,803
18	818,975	△ 2,617	△ 0.32	△ 596	△ 2,021	10,733
19	816,198	△ 2,777	△ 0.34	△ 500	△ 2,277	10,665
20	812,479	△ 3,719	△ 0.46	△ 894	△ 2,825	10,241
21	808,589	△ 3,890	△ 0.48	△ 970	△ 2,920	9,377
22※	806,314	△ 2,275	△ 0.28	△ 1,461	△ 1,910	10,562
23	803,216	△ 3,098	△ 0.38	△ 1,885	△ 1,213	10,311
24	799,127	△ 4,089	△ 0.51	△ 1,990	△ 2,099	9,929
25	794,492	△ 4,635	△ 0.58	△ 2,332	△ 2,303	9,589
26	789,633	△ 4,859	△ 0.61	△ 2,626	△ 2,233	9,467
27※	786,740	△ 2,893	△ 0.37	△ 2,496	△ 1,773	9,448
28	782,232	△ 4,508	△ 0.57	△ 2,913	△ 1,595	9,836
29	778,329	△ 3,903	△ 0.50	△ 3,468	△ 435	10,986
30	773,731	△ 4,598	△ 0.59	△ 3,588	△ 1,010	11,988
令和元年	767,742	△ 5,989	△ 0.77	△ 3,865	△ 2,124	12,436
2	762,679	△ 5,063	△ 0.66	△ 3,866	△ 1,197	13,382

【※は国勢調査結果】

（注）※年の総人口については、国勢調査人口におきかえており、前年の推計人口に自然増減数および社会増減数を加えた数値とは一致しない。

(1) 自然動態（出生・死亡）

出生数は5,511人となり、前年と比べ60人の減少となった。第2次ベビーブーム期の昭和48年以降減少傾向が続いている。

一方、死亡数は9,377人で、前年に比べ59人減少したものの、増加傾向が続いている。この結果、自然増減数は3,866人の減少となり、平成16年以降17年連続の減少となっている。

(2) 社会動態（転入・転出）

社会動態は、昭和25年以降ほぼ一貫して減少の傾向にあり、平成13年以降社会減少が続いている。令和2年の県外転入者は13,115人、県外転出者は14,312人となっており、この結果1,197人の社会減少となった。県外転入で最も多いのは愛知県1,275人であり、次いで石川県1,133人、大阪府1,043人となっている。また、県外転出で最も多いのは石川県の1,480人であり、次いで東京都1,442人、大阪府1,375人となっている。

図2 自然増減数・社会増減数（平成元年～令和2年）

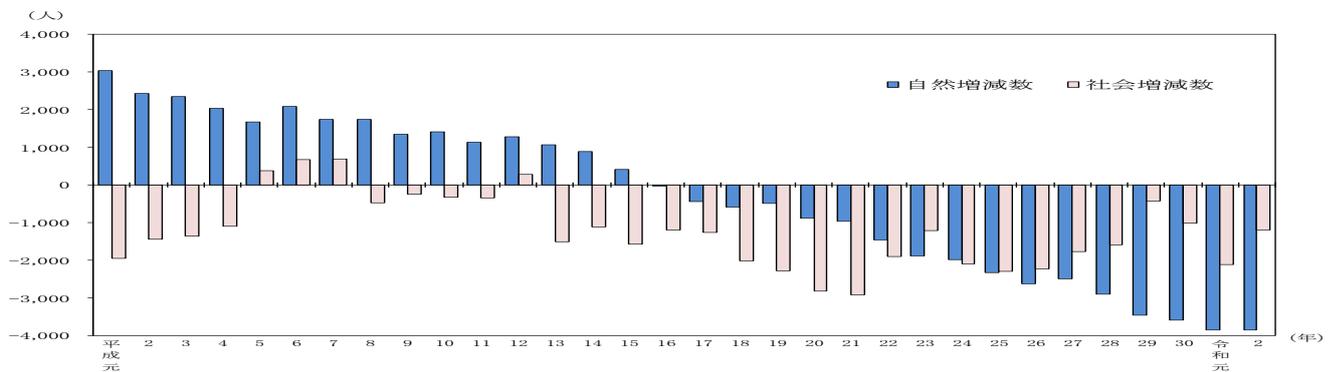
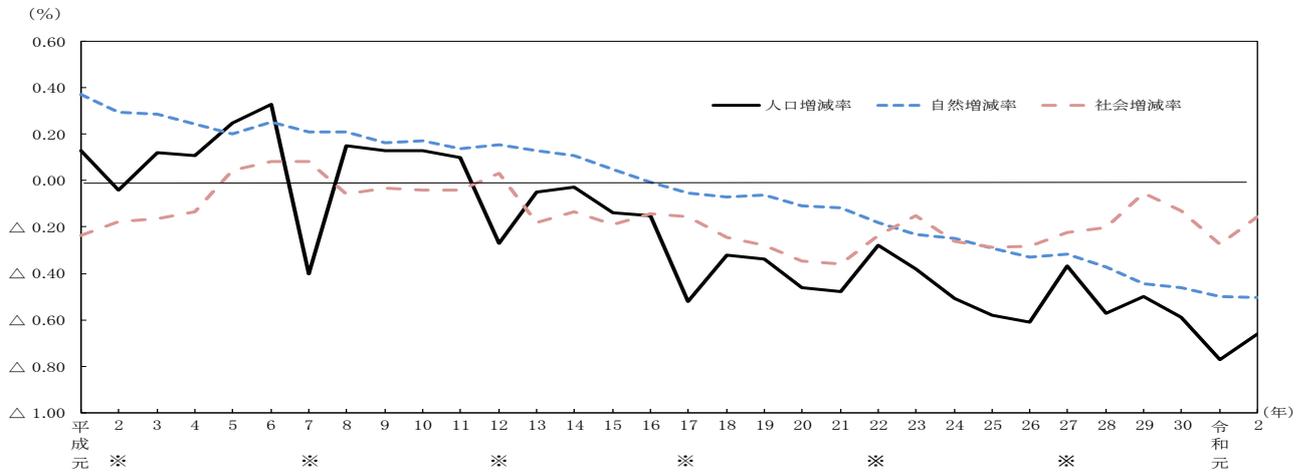


図3 人口増減率・自然増減率・社会増減率（平成元年～令和2年）



(注) 国勢調査年の人口増減率は、国勢調査人口をもとに算出しているため、自然増減率と社会増減率の合計とは一致しない。【※は国勢調査結果】

図4 出生数・死亡数・転入者数・転出者数（平成元年～令和2年）

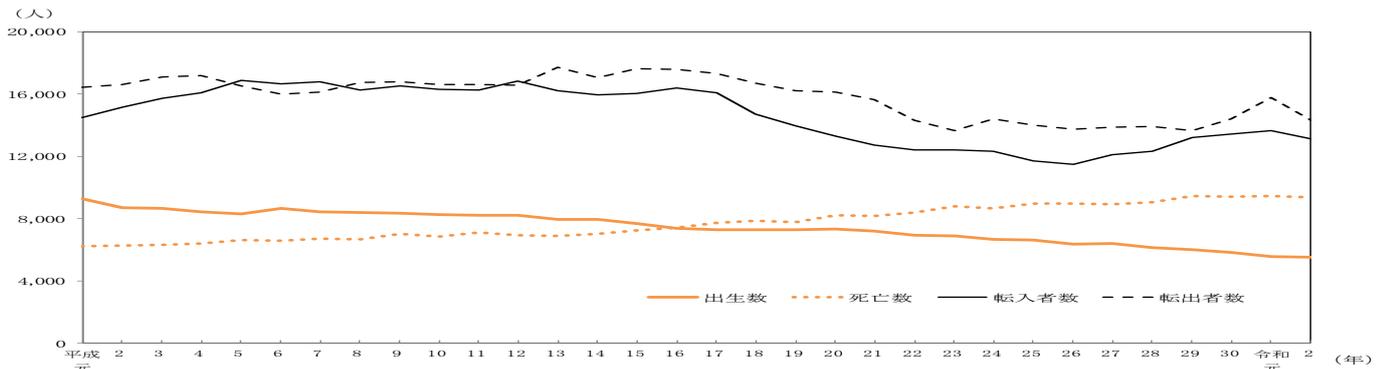


図5 総人口の推移（令和元年10月～令和2年10月）

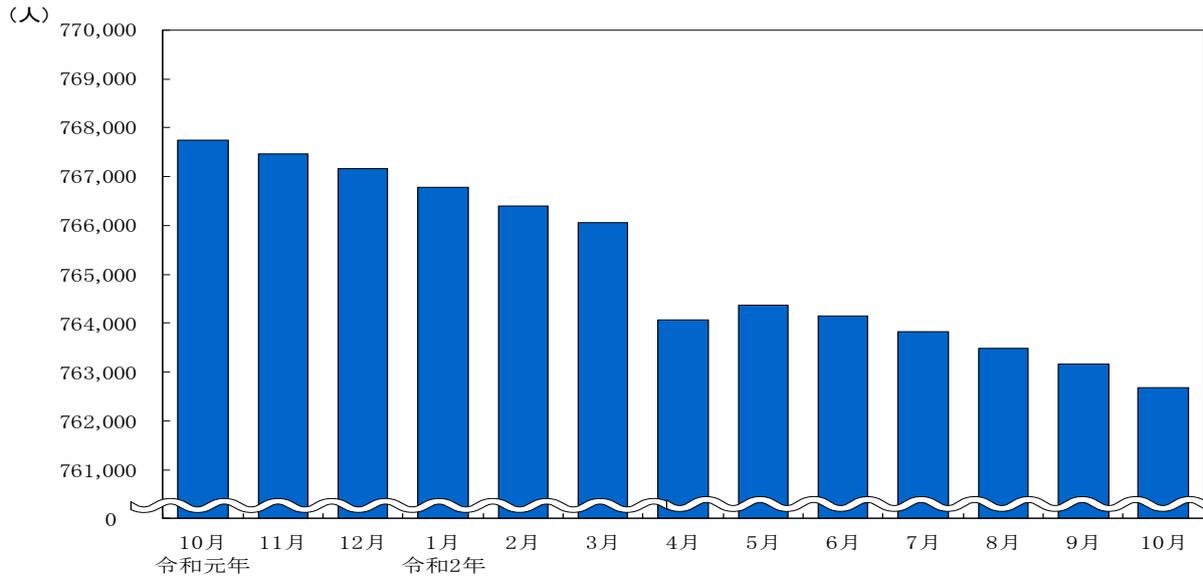


図6 自然増減数・社会増減数（令和元年10月～令和2年9月）

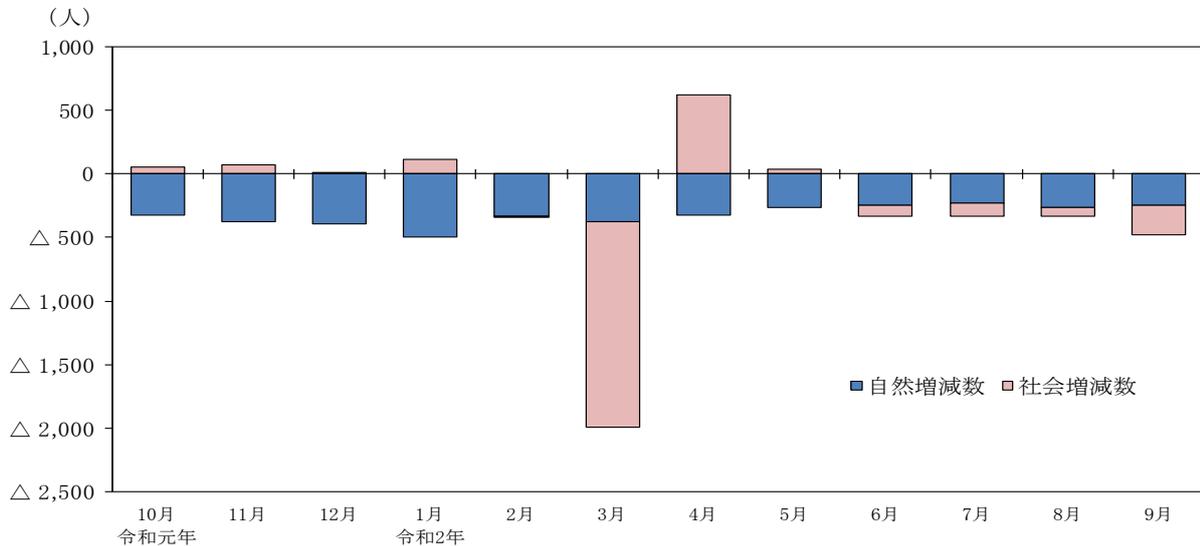


表2 月別人口・移動者数（令和元年10月～令和2年10月）

月	人口	人口増減	自然増減	出生	死亡	社会増減	県外転入	県外転出
令和元年 10月	767,742	△ 272	△ 323	486	809	51	1,091	1,040
11月	767,470	△ 303	△ 376	445	821	73	1,000	927
12月	767,167	△ 378	△ 391	438	829	13	877	864
令和2年 1月	766,789	△ 382	△ 495	483	978	113	964	851
2月	766,407	△ 341	△ 330	433	763	△ 11	1,054	1,065
3月	766,066	△ 1,990	△ 379	455	834	△ 1,611	2,438	4,049
4月	764,076	301	△ 321	468	789	622	1,893	1,271
5月	764,377	△ 225	△ 266	424	690	41	756	715
6月	764,152	△ 330	△ 244	460	704	△ 86	811	897
7月	763,822	△ 335	△ 229	479	708	△ 106	776	882
8月	763,487	△ 333	△ 267	472	739	△ 66	762	828
9月	763,154	△ 475	△ 245	468	713	△ 230	693	923
10月	762,679	-	-	-	-	-	-	-
総数		△ 5,063	△ 3,866	5,511	9,377	△ 1,197	13,115	14,312

(注)「人口」は各月1日現在、「人口増減」「自然増減」「出生」「死亡」「社会増減」「県外転入」「県外転出」は各月中の数

表3 5歳階級別移動者数（令和元年10月～令和2年9月）

（単位：人）

歳	出生			死亡			県外転入			県外転出		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
0～4	5,511	2,805	2,706	31	16	15	613	328	285	637	334	303
5～9	—	—	—	4	2	2	292	154	138	303	160	143
10～14	—	—	—	4	3	1	161	84	77	161	77	84
15～19	—	—	—	7	4	3	742	407	335	901	514	387
20～24	—	—	—	19	12	7	2,756	1,659	1,097	3,985	2,052	1,933
25～29	—	—	—	18	12	6	2,692	1,525	1,167	2,769	1,502	1,267
30～34	—	—	—	19	16	3	1,841	1,048	793	1,737	945	792
35～39	—	—	—	23	16	7	1,115	656	459	1,056	592	464
40～44	—	—	—	33	19	14	882	550	332	732	454	278
45～49	—	—	—	82	54	28	709	450	259	621	380	241
50～54	—	—	—	94	60	34	431	299	132	443	292	151
55～59	—	—	—	143	91	52	307	205	102	331	213	118
60～64	—	—	—	219	160	59	197	135	62	186	119	67
65～69	—	—	—	424	304	120	117	83	34	129	76	53
70～74	—	—	—	724	497	227	98	54	44	93	50	43
75～79	—	—	—	930	627	303	65	36	29	72	29	43
80～84	—	—	—	1,294	739	555	42	14	28	64	22	42
85～89	—	—	—	2,010	982	1,028	29	11	18	54	16	38
90以上	—	—	—	3,299	1,003	2,296	26	5	21	38	4	34
総数	5,511	2,805	2,706	9,377	4,617	4,760	13,115	7,703	5,412	14,312	7,831	6,481

図7-1 5歳階級別県外転入者数

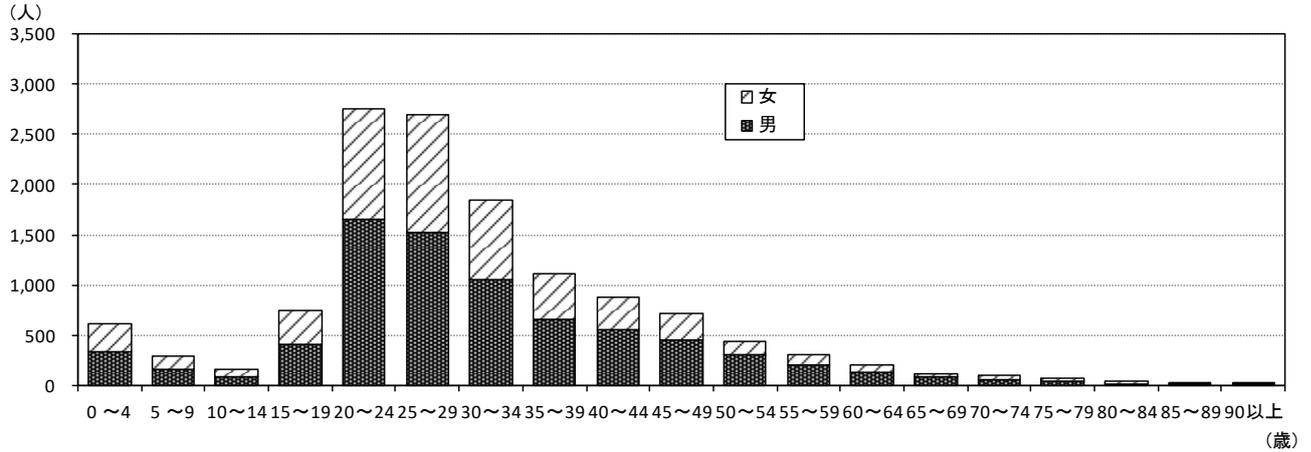


図7-2 5歳階級別県外転出者数

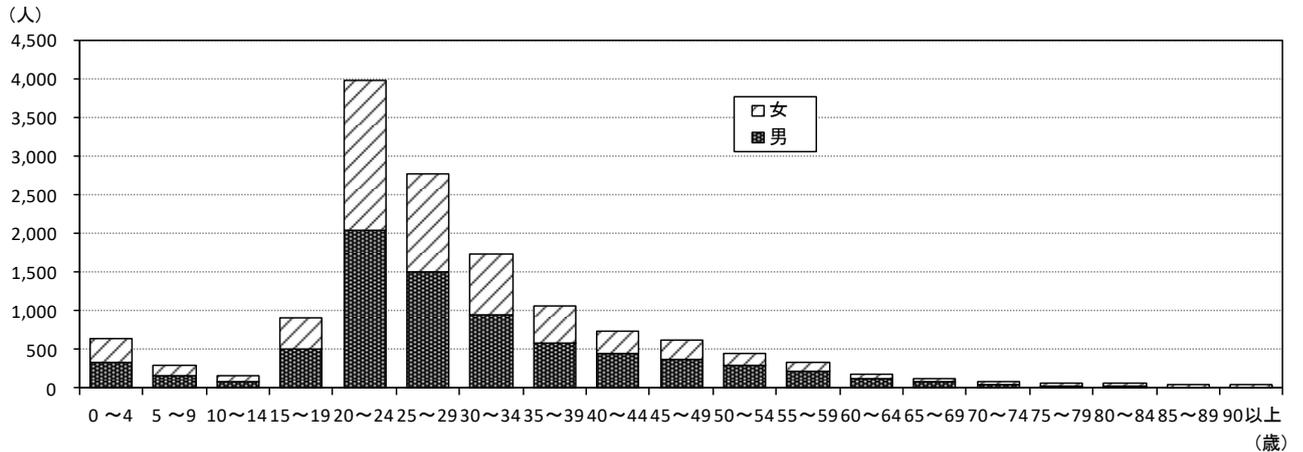
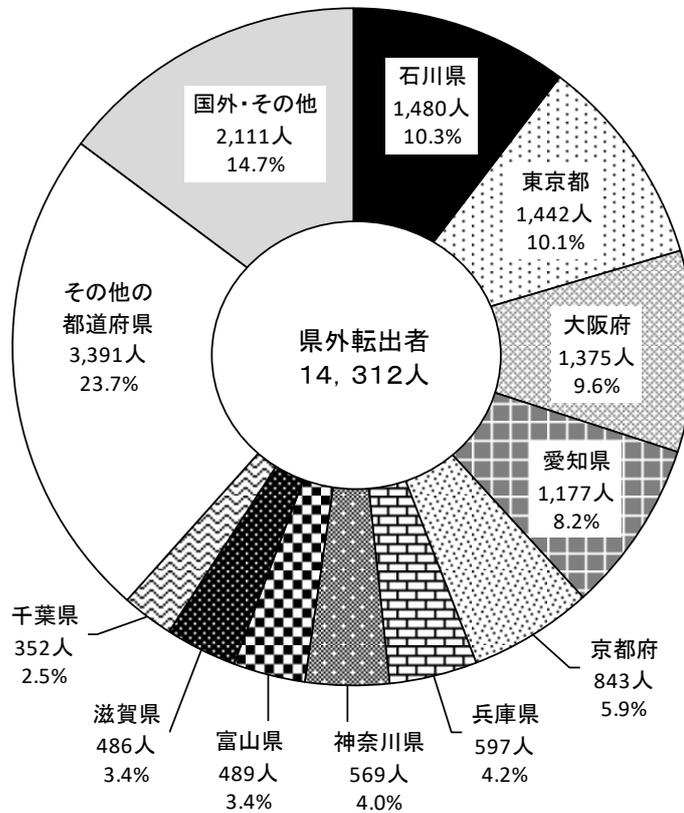
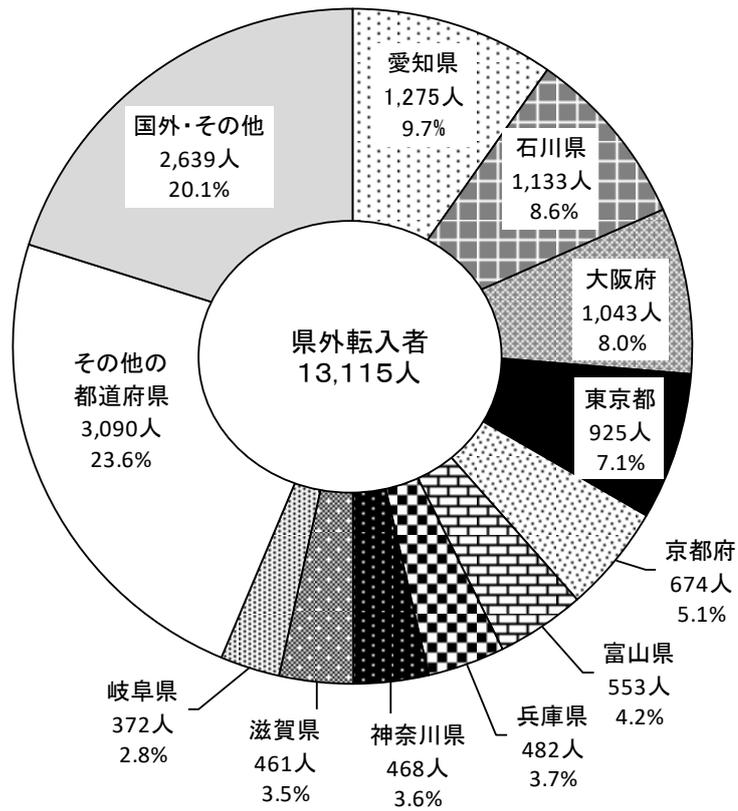


図8 県外転入前・転出先住所地内訳



2 年齢・男女別人口

(1) 年齢（5歳階級）別人口

福井県の人口を年齢5歳階級別にみると、70～74歳が58,370人と最も多く、次いで45～49歳54,745人、65～69歳53,152人の順となっている。

人口ピラミッドをみると、昭和22～24年（現71～73歳）の第1次ベビーブーム期までは若年層ほど人口が多い「富士山型」をしていたが、出生数の減少に伴い「つぼ型」に変化した。その後、昭和46～49年（現46～49歳）の第2次ベビーブーム期を経て出生数が再び減少し、現在は68～73歳と44～50歳を中心とした2つの膨らみを持つ「逆ひょうたん型」となっている。

人口を男女別にみると、男性が371,196人、女性が391,483人であり、女性が男性より20,287人多く、人口性比（女性100人に対する男性の数）は94.8となっている。

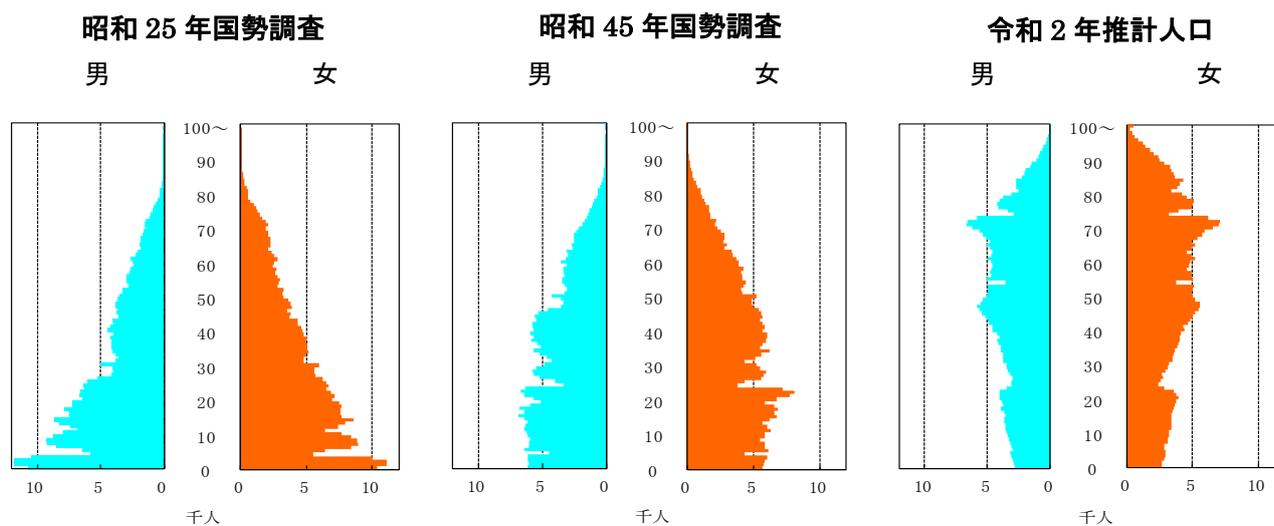
表4 男女別年齢5歳階級別人口

(単位:人、%)

年齢	男女計	男	女	性比	年齢	男女計	男	女	性比
0～4	29,020	14,885	14,135	105.3	50～54	47,551	23,622	23,929	98.7
5～9	31,128	15,980	15,148	105.5	55～59	48,126	23,845	24,281	98.2
10～14	34,675	17,791	16,884	105.4	60～64	48,264	23,750	24,514	96.9
15～19	36,632	18,695	17,937	104.2	65～69	53,152	25,927	27,225	95.2
20～24	35,211	18,639	16,572	112.5	70～74	58,370	28,138	30,232	93.1
25～29	30,243	16,145	14,098	114.5	75～79	43,027	19,485	23,542	82.8
30～34	36,142	18,597	17,545	106.0	80～84	33,621	13,767	19,854	69.3
35～39	40,470	20,514	19,956	102.8	85～89	26,058	9,249	16,809	55.0
40～44	47,459	24,217	23,242	104.2	90～	18,848	4,794	14,054	34.1
45～49	54,745	27,721	27,024	102.6	合計	762,679	371,196	391,483	94.8

(注)年齢不詳 男女計9,937人、男5,435人、女4,502人を計に含む。

図9 福井県の人口ピラミッド（男女別各歳）



(2) 年齢（3区分）別人口

総人口を年齢3区分別にみると、令和2年の年少人口（0～14歳）は94,823人（12.6%）で、前年に比べて0.1ポイント減少、生産年齢人口（15～64歳）は424,843人（56.4%）であり、前年と比べて0.3ポイント減少した。老年人口（65歳以上）は233,076人（31.0%）であり、前年と比べて0.5ポイント増加した。

また、人口の高齢化の程度を示す指数である老年化指数（老年人口の年少人口に対する比率）は245.8となっており、平成7年に老年人口が初めて年少人口を上回って以降、毎年上昇を続けている。

図10 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～令和2年）

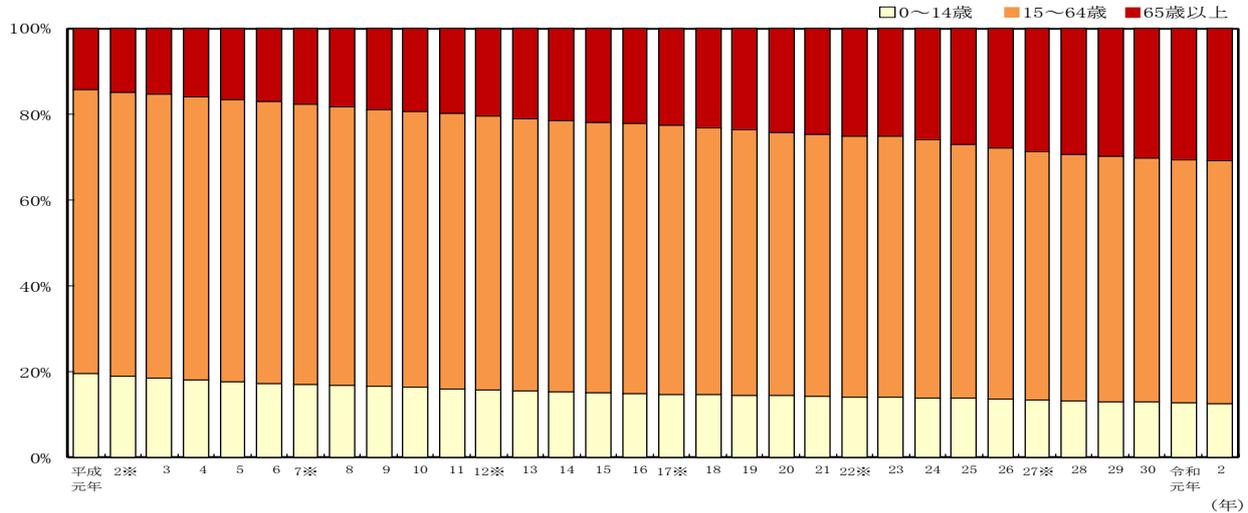


表5 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～令和2年）

(単位: 人、%)

区分	年齢構成別人口			構成割合			老年化指数
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
平成元年	160,475	546,131	117,337	19.5	66.3	14.2	73.1
2※	155,998	545,297	121,940	18.9	66.2	14.8	78.2
3	152,112	545,414	127,055	18.4	66.1	15.4	83.5
4	148,626	545,024	131,865	18.0	66.0	16.0	88.7
5	145,617	545,144	136,799	17.6	65.9	16.5	93.9
6	143,479	544,816	142,022	17.3	65.6	17.1	99.0
7※	140,593	539,592	146,728	17.0	65.3	17.7	104.4
8	138,624	537,615	151,927	16.7	64.9	18.3	109.6
9	136,966	535,779	156,516	16.5	64.6	18.9	114.3
10	134,951	534,162	161,233	16.3	64.3	19.4	119.5
11	132,658	533,185	165,296	16.0	64.2	19.9	124.6
12※	130,143	529,017	169,489	15.7	63.8	20.5	130.2
13	128,279	525,455	174,473	15.5	63.4	21.1	136.0
14	126,329	523,198	178,463	15.3	63.2	21.6	141.3
15	124,528	520,980	181,307	15.1	63.0	21.9	145.6
16	122,588	520,112	182,885	14.8	63.0	22.2	149.2
17※	120,745	513,858	185,501	14.7	62.7	22.6	153.6
18	119,297	509,209	188,981	14.6	62.3	23.1	158.4
19	118,031	503,513	193,166	14.5	61.8	23.7	163.7
20	116,860	497,371	196,760	14.4	61.3	24.3	168.4
21	115,447	491,666	199,988	14.3	60.9	24.8	173.2
22※	112,192	485,409	200,942	14.0	60.8	25.2	179.1
23	110,816	484,729	199,900	13.9	60.9	25.1	180.4
24	109,166	476,832	205,358	13.8	60.3	26.0	188.1
25	107,644	467,096	211,981	13.7	59.4	26.9	196.9
26	105,932	457,563	218,367	13.5	58.5	27.9	206.1
27※	102,986	451,409	222,408	13.3	58.1	28.6	216.0
28	101,322	444,857	226,116	13.1	57.6	29.3	223.2
29	99,805	439,896	228,691	13.0	57.2	29.8	229.1
30	98,058	435,182	230,554	12.8	57.0	30.2	235.1
令和元年	96,407	429,898	231,500	12.7	56.7	30.5	240.1
2	94,823	424,843	233,076	12.6	56.4	31.0	245.8

(注1) 平成元年から平成6年は、年齢不詳を年齢構成別人口に含めている。

(注2) 平成7年以降の構成割合は、年齢不詳を除いて算出している。

【※は国勢調査結果】

3 世帯数 291,019 世帯（令和2年10月1日現在）

福井県の総世帯数は291,019世帯であり、前年と比べ2,663世帯(0.92%)増加した。また、1世帯当たり人員は2.62人であり、前年と比べ0.04人の減少となり、核家族や単身世帯の増加に伴い毎年減少を続けている。

図11 世帯数の推移（平成元年～令和2年）

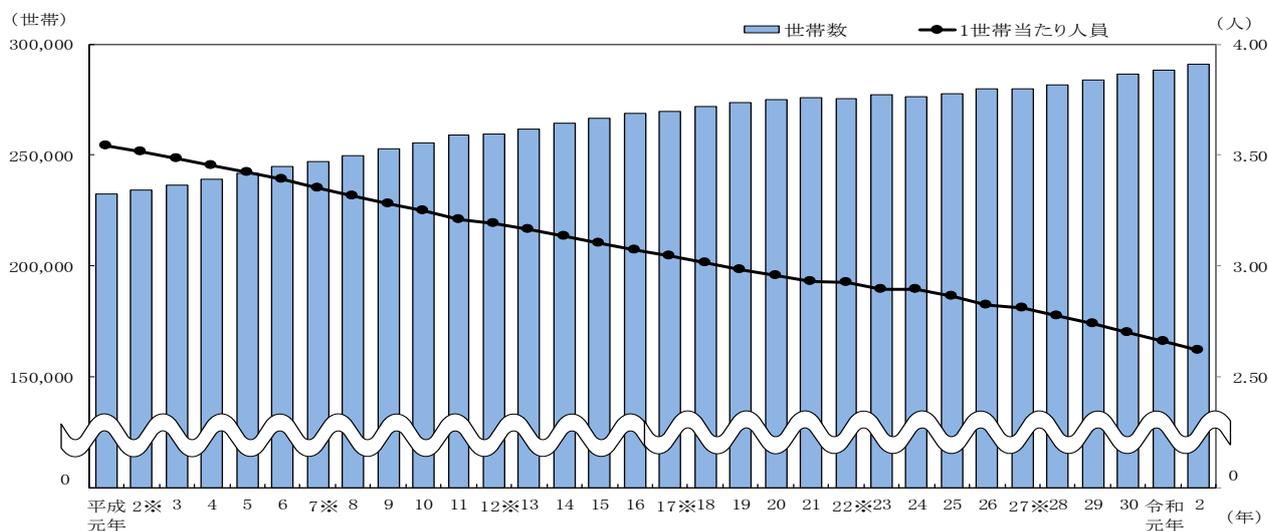


表6 世帯数の推移（平成元年～令和2年）

（単位：世帯、人、%）

区分	世帯数	増減数	増減率	1世帯当たり人員
平成元年	232,532	1,867	0.81	3.54
2※	234,192	1,660	0.71	3.52
3	236,662	2,470	1.05	3.48
4	238,960	2,298	0.97	3.45
5	241,865	2,905	1.22	3.42
6	244,821	2,956	1.22	3.39
7※	246,911	2,090	0.85	3.35
8	249,750	2,839	1.15	3.32
9	252,714	2,964	1.19	3.28
10	255,684	2,970	1.18	3.25
11	259,040	3,356	1.31	3.21
12※	259,612	572	0.22	3.19
13	261,845	2,233	0.86	3.16
14	264,393	2,548	0.97	3.13
15	266,603	2,210	0.84	3.10
16	268,671	2,068	0.78	3.07
17※	269,577	906	0.34	3.05
18	271,810	2,233	0.83	3.01
19	273,552	1,742	0.64	2.98
20	274,817	1,265	0.46	2.96
21	275,759	942	0.34	2.93
22※	275,599	△ 160	△ 0.06	2.93
23	277,218	1,619	0.59	2.90
24	276,183	△ 1,035	△ 0.37	2.89
25	277,510	1,327	0.48	2.86
26	279,774	2,264	0.82	2.82
27※	279,687	△ 87	△ 0.03	2.81
28	281,612	1,925	0.69	2.78
29	284,100	2,488	0.88	2.74
30	286,392	2,292	0.81	2.70
令和元年	288,356	1,964	0.69	2.66
2	291,019	2,663	0.92	2.62

【※は国勢調査結果】

4 市町人口

人口が最も多いのは福井市の 261,117 人であり、県全体の 34.2%を占める。次いで坂井市 88,176 人、越前市 80,268 人となっている。

(1) 人口増減

人口が増加したのは鯖江市と越前市の 2 市のみであり、他の 15 市町は昨年に比べ人口が減少した。

人口増減率は、越前市が 0.47%と最も高く、次いで鯖江市 0.02%、福井市 Δ 0.54%となっている。最も減少率が高いのは池田町の Δ 2.66%であり、次いで南越前町 Δ 2.16%、大野市 Δ 2.06%となっている。

広域圏単位でみると、すべての広域圏で減少しており、最も減少率が高いのは奥越の Δ 1.90%であり、次いで嶺南 Δ 1.00%となっている

表7 地区・市町別人口および増減率

(単位:人、%)			
	人口	増減数	増減率
県計	762,679	Δ 5,063	Δ 0.66
福井地区	280,109	Δ 1,541	Δ 0.55
福井市	261,117	Δ 1,413	Δ 0.54
永平寺町	18,992	Δ 128	Δ 0.67
坂井地区	115,447	Δ 925	Δ 0.79
あわら市	27,271	Δ 306	Δ 1.11
坂井市	88,176	Δ 619	Δ 0.70
奥越地区	52,802	Δ 1,023	Δ 1.90
大野市	30,621	Δ 643	Δ 2.06
勝山市	22,181	Δ 380	Δ 1.68
丹南地区	180,872	Δ 221	Δ 0.12
鯖江市	68,548	15	0.02
越前市	80,268	379	0.47
池田町	2,302	Δ 63	Δ 2.66
南越前町	9,916	Δ 219	Δ 2.16
越前町	19,838	Δ 333	Δ 1.65
嶺南地区	133,449	Δ 1,353	Δ 1.00
敦賀市	63,939	Δ 535	Δ 0.83
小浜市	28,289	Δ 249	Δ 0.87
美浜町	9,173	Δ 57	Δ 0.62
高浜町	10,098	Δ 184	Δ 1.79
おおい町	7,988	Δ 79	Δ 0.98
若狭町	13,962	Δ 249	Δ 1.75

図12 市町別人口増減率（その1）

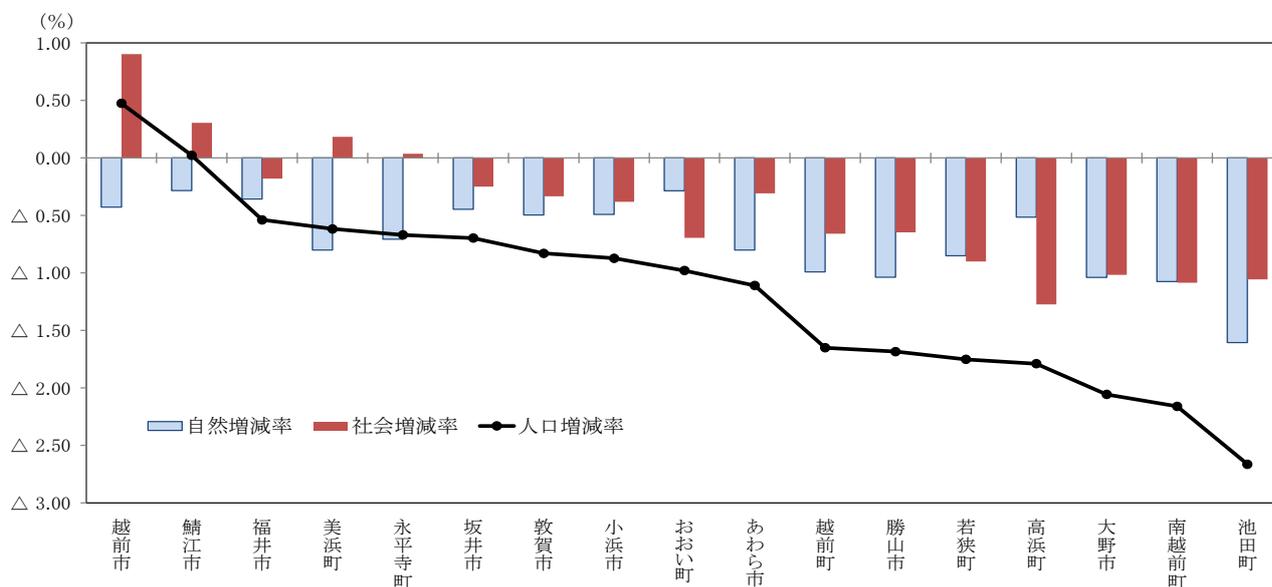
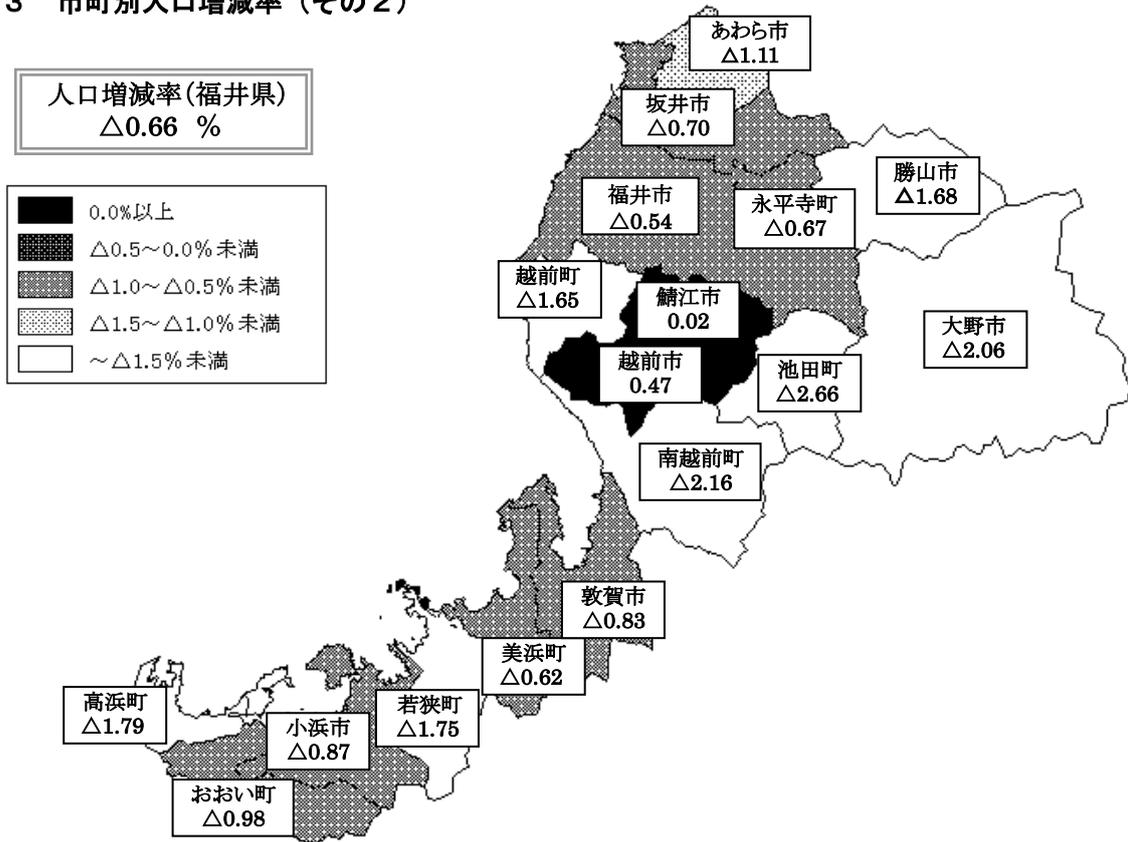


図 1 3 市町別人口増減率（その 2）



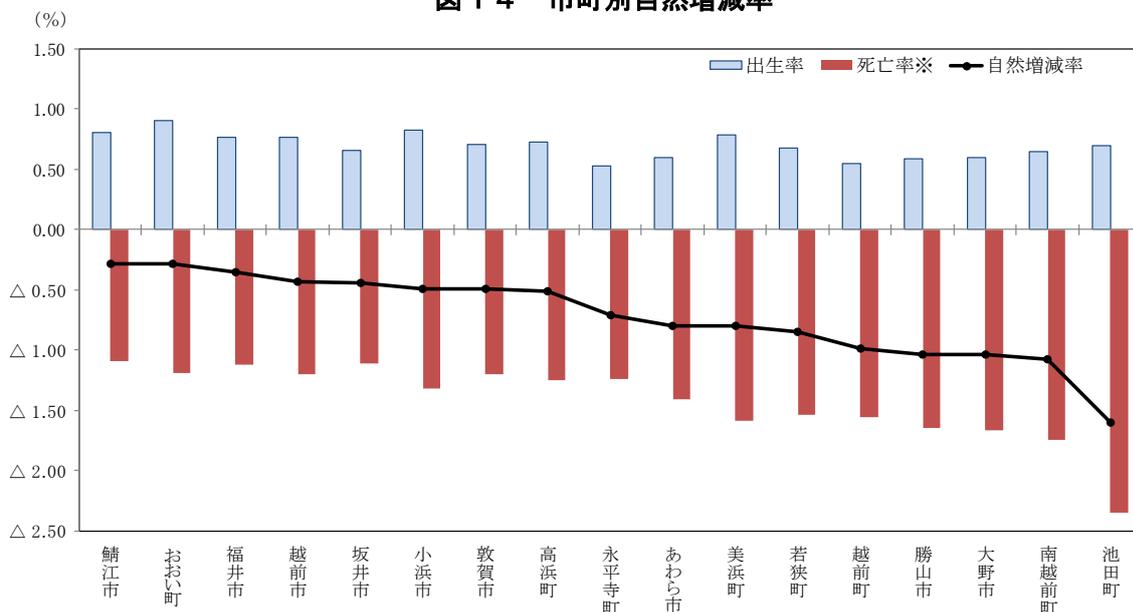
(2) 自然動態

自然増減率はすべての市町でマイナスとなり、最も減少率が低いのは鯖江市の△0.28%であり、次いでおおい町△0.29%、福井市△0.36%となっている。最も減少率が高いのは池田町の△1.61%であり、次いで南越前町△1.08%、大野市と勝山市が△1.04%となっている。

出生率は、おおい町が0.89%と最も高く、次いで小浜市が0.82%、鯖江市が0.81%となっている。最も低いのは永平寺町の0.52%であり、次いで越前町0.54%、勝山市0.58%となっている。

死亡率は、池田町が2.28%と最も高く、次いで南越前町1.71%、大野市1.63%となっている。最も低いのは鯖江市の1.09%であり、次いで坂井市1.10%、福井市1.12%となっている。

図 1 4 市町別自然増減率



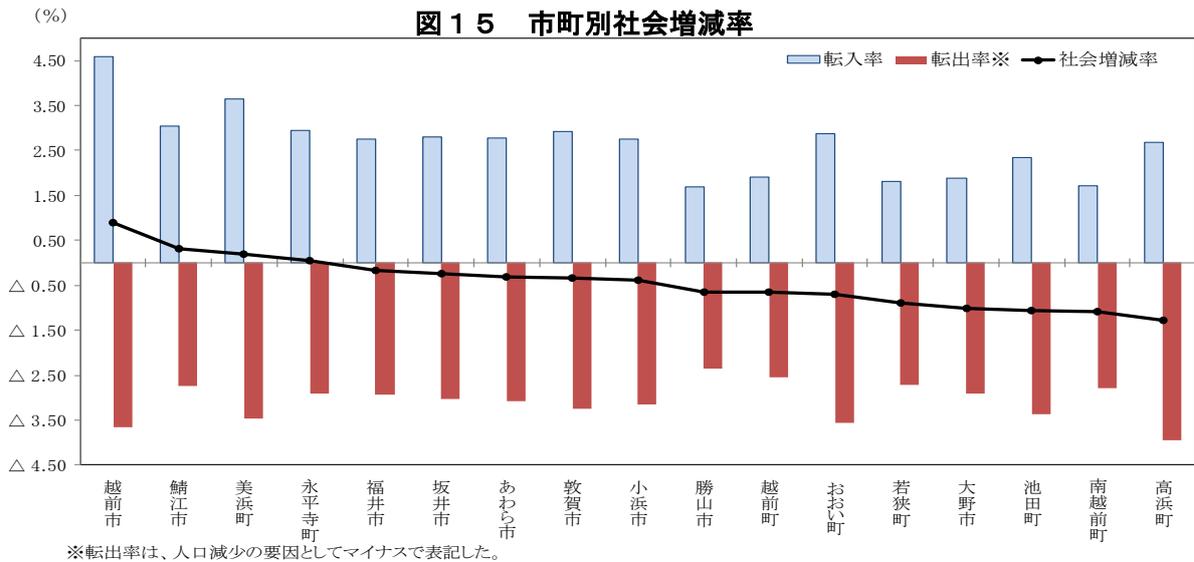
※死亡率は、人口減少の要因としてマイナスで表記した。

(3) 社会動態

社会増減率がプラス（＝転入超過）になったのは4市町であり、最も高いのは越前市が0.90%、次いで鯖江市が0.30%、美浜町0.18%となった。他の13市町はマイナス（＝転出超過）になっており、最も低いのは高浜町の△1.27%であり、次いで南越前町△1.09%、池田町△1.06%となった。

転入率は、越前市が4.58%と最も高く、次いで美浜町が3.64%、鯖江市3.05%となっている。最も低いのは勝山市の1.70%であり、次いで南越前町1.72%、若狭町1.82%となっている。

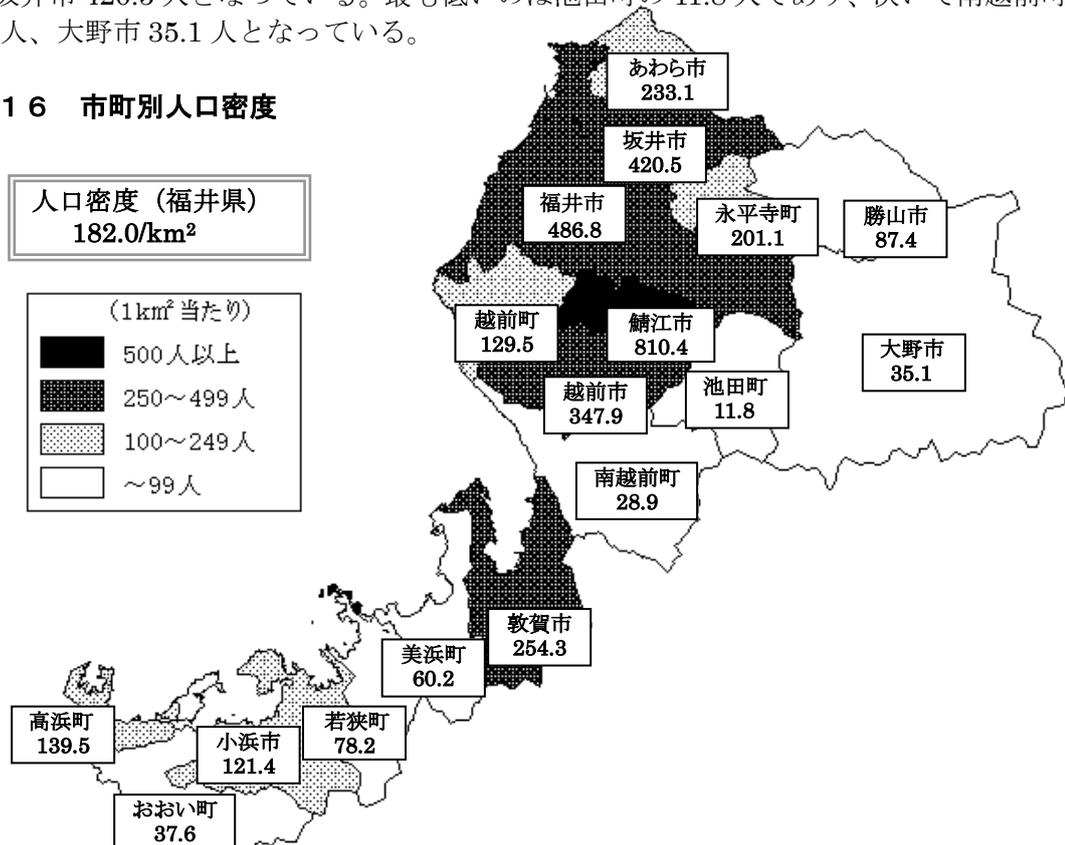
転出率は、高浜町が3.95%と最も高く、次いで越前市3.67%、おおい町3.57%となっている。最も低いのは勝山市の2.35%であり、次いで越前町2.56%、若狭町2.72%となっている。



(4) 人口密度

面積1km²当たりの人口密度は、鯖江市が810.4人であり最も高く、次いで福井市486.8人、坂井市420.5人となっている。最も低いのは池田町の11.8人であり、次いで南越前町28.9人、大野市35.1人となっている。

図16 市町別人口密度



(5) 年齢（3区分）別人口

年少人口（0～14歳）の割合が最も高いのは鯖江市の14.1%であり、次いでおおい町13.8%、坂井市13.2%となっている。最も低いのは池田町の8.2%であり、次いで美浜町10.8%、大野市、勝山市、あわら市が10.9%となっている。

生産年齢人口（15～64歳）の割合が最も高いのは永平寺町の58.8%であり、次いで鯖江市58.1%、坂井市57.8%となっている。最も低いのは池田町の46.6%であり、次いで若狭町50.8%、南越前町50.9%となっている。

老年人口（65歳以上）の割合が最も高いのは池田町の45.2%であり、次いで大野市と勝山市が37.8%となっている。最も低いのは鯖江市の27.8%であり、次いで坂井市28.9%、敦賀市29.5%となっている。

老年化指数（老年人口の年少人口に対する比率）が最も高いのは池田町の550.3であり、次いで勝山市348.4、大野市345.5となっている。最も低いのは鯖江市の197.7であり、次いで坂井市218.5、敦賀市228.5となっている。

図17 市町別年齢（3区分）別人口の割合

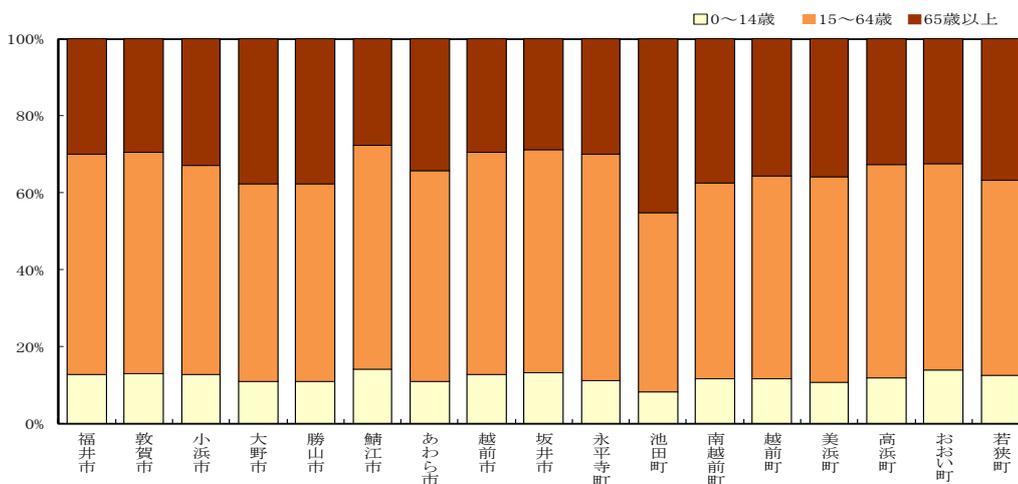
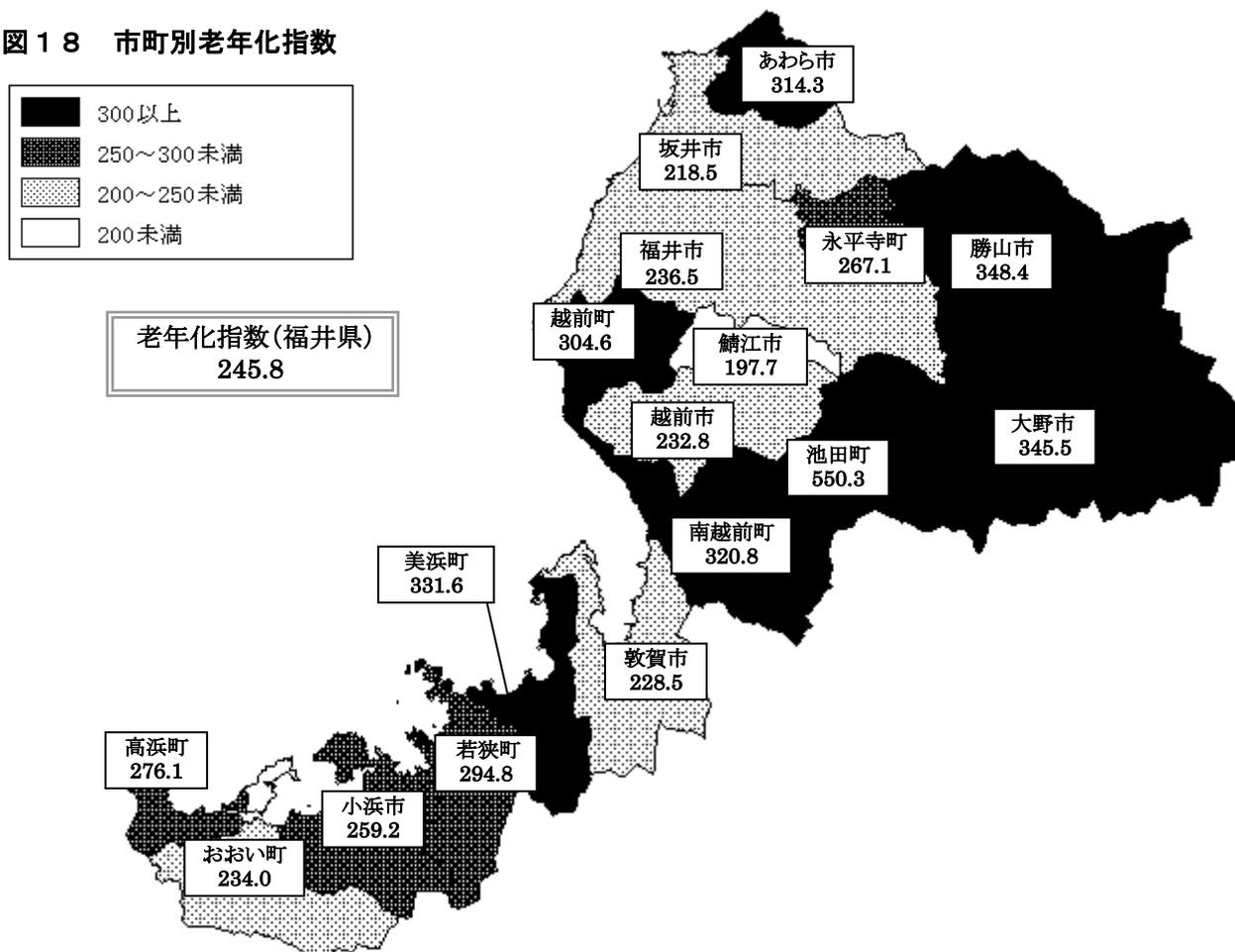


図18 市町別老年化指数



(6) 世帯数

世帯数が最も多いのは福井市の 104,822 世帯であり、県全体の 36.0%を占めている。次いで坂井市 31,044 世帯、越前市 29,757 世帯となっている。

増減率は、越前市が 2.94%と最も高く、次いで鯖江市 1.55%、永平寺町 1.13%となっている。最も低いのは、池田町の△2.09%であり、次いで大野市△0.82%、南越前町△0.61%となっている。

1 世帯当たり人員が最も多いのは、越前町の 3.06 人であり、次いで南越前町 3.03 人、若狭町 2.91 人となっている。最も少ないのは、高浜町の 2.33 人であり、次いで敦賀市 2.34 人、美浜町 2.39 人となっている。

表 8 市町別世帯数

(単位:世帯、%)

	世帯数	増減数	増減率
県 計	291,019	2,663	0.92
福 井 市	104,822	868	0.83
敦 賀 市	27,297	218	0.81
小 浜 市	11,481	31	0.27
大 野 市	10,703	△ 89	△ 0.82
勝 山 市	7,615	△ 15	△ 0.20
鯖 江 市	24,080	367	1.55
あ わ ら 市	9,909	43	0.44
越 前 市	29,757	851	2.94
坂 井 市	31,044	302	0.98
永 平 寺 町	7,486	84	1.13
池 田 町	843	△ 18	△ 2.09
南 越 前 町	3,270	△ 20	△ 0.61
越 前 町	6,483	1	0.02
美 浜 町	3,845	17	0.44
高 浜 町	4,335	7	0.16
お お い 町	3,257	△ 2	△ 0.06
若 狭 町	4,792	18	0.38

図 19 市町別 1 世帯当たり人員

